

## 令和2年度決算と令和3年度上半期予算執行の状況

市の財政がどうなっているのか、皆さんに納めていただいた市税などがどのように使われたのかを知っていただくために、毎年6月と12月に財政状況を公表しています。令和2年度決算の詳細は、市HPの「決算の概要」および「財政白書」をご覧ください。  
 ※各表の数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計額が総合計額と一致しない場合があります。 ▶財政課 ☎042-460-9802

### 決算の状況

#### 市債の状況

一般会計の借入額が元金償還額を上回ったため、市全体の市債現在高が増加しました。

(令和3年5月31日現在)

会計名	令和元年度末現在高(A)	令和2年度借入額(B)	令和2年度元金償還額(C)	令和2年度末現在高(A)+(B)-(C)
一般会計	548億605万円	53億1,302万円	48億5,098万円	552億6,809万円
下水道事業会計	66億8,998万円	1億7,260万円	5億6,982万円	62億9,276万円
合計	614億9,604万円	54億8,562万円	54億2,080万円	615億6,085万円

市債の令和2年度末現在高は、一般会計は、前年度末から4億6,204万円増となりました。下水道事業会計は、前年度末から3億9,722万円減となり、市全体では前年度末から6,482万円増の615億6,085万円となりました。これは、一般会計の借入額が元金償還額を上回ったためです。

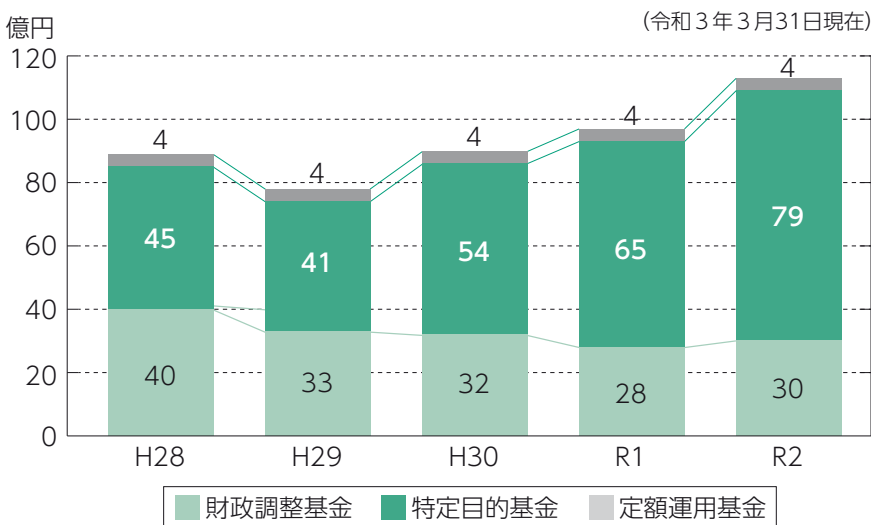
令和3年度以降、一般会計では合併特例債の償還が完済し、総合計画(実施計画)に基づく事業のうち、中央図書館・田無公民館耐震補強等改修事業や西東京3・4・24号線整備事業等を実施する予定ですが、市債残高は横ばいで推移する見込みです。

なお、元利償還金等の負担が市の財政規模に対して適正かどうかを把握するための指標である公債費比率は4.7%、実質公債費比率は2.1%となっており、いずれも適正な水準を保っています。

#### 基金の状況

特定目的基金・財政調整基金ともに増加しました。

(令和3年3月31日現在)



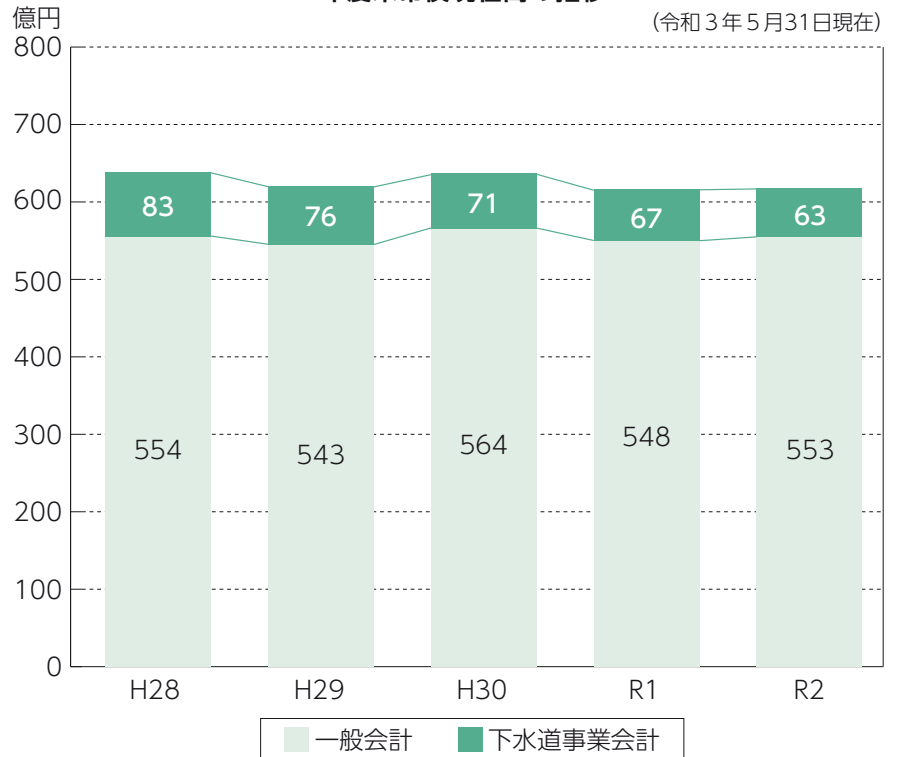
令和2年度末(令和3年3月31日現在)の基金は、前年度より16億1,523万円増の113億5,663万円となりました。

年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金は、前年度より1億4,465万円増の29億7,230万円となりました。

特定目的基金は使い道が定められている基金であり、令和2年度においても各々の目的に応じて積み立てや取り崩しを行いました。特に、都市計画法に基づいて行う都市計画に係る事業の推進を図るため、都市計画事業基金を新たに設置したほか、新型コロナウイルス感染症対策運転資金の融資に係る利子補給等の助成措置の財源に充てるため、中小企業事業資金融資あっせん基金を設置しました。そのため、特定目的基金全体の令和2年度末現在高は、前年度より14億7,058万円増の79億3,527万円となりました。

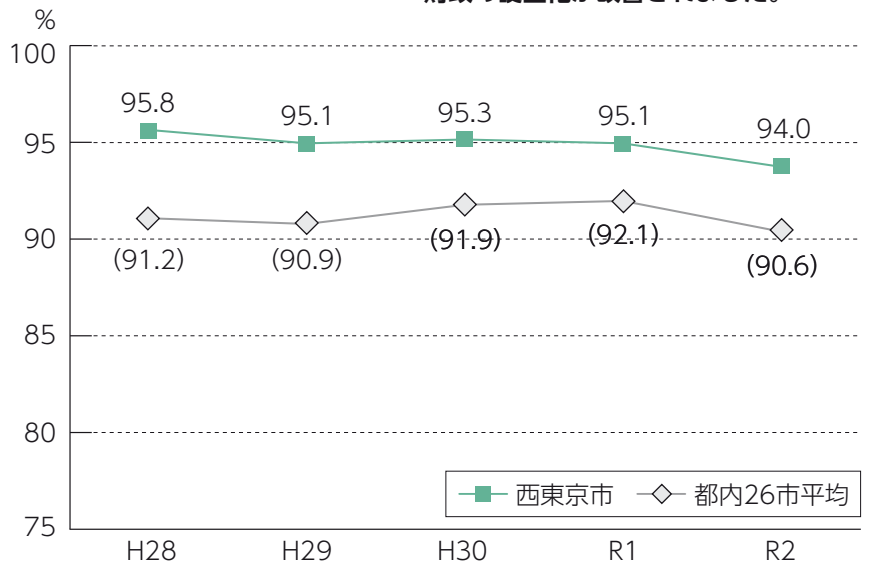
#### 年度末市債現在高の推移

(令和3年5月31日現在)



#### 経常収支比率の推移

前年度に比べて1.1ポイント減となり、財政の硬直化が改善されました。



※( )内は、都内26市平均を示しており、東京都市町村普通会計決算の概要(東京都総務局)による加重平均値を用いています。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を示す指標です。この比率が低いほど市が自由に使うことができる財源が多く、新たな市民ニーズに対応する余力があるといえます。

令和2年度の経常収支比率は、前年度から1.1ポイント改善しましたが、都内26市平均との比較では、平均値90.6%を3.4ポイント上回る結果となりました。

## 国民健康保険事業の現況

▶保険年金課 ☎042-460-9821

#### 決算の状況

令和2年度国民健康保険特別会計の決算額は、歳入が185億9,602万円、歳出が183億2,044万円となり、差し引き2億7,558万円で、形式上は黒字となりました。しかし、国民健康保険特別会計は毎年、財源不足を一般会計からの繰入によって補填している赤字財政で、令和2年度は15億円の繰入を行っており、厳しい財政状況となっています。

#### 歳入

都支出金(118億3,666万円…63.7%)、国民健康保険料(38億1,890万円…20.5%)、一般会計繰入金(24億7,897万円…13.3%)が主な財源で、全体の97.5%を占めています。なお、一般会計繰入金の中には、赤字補填としての法定外繰入が含まれています。

#### 一般会計繰入金の状況

一般会計繰入金には、「法定内繰入金」と「法定外繰入金」があります。法定内繰入金は、法で定められた保険料軽減に伴う財源の補填分、出産育児一時金および事業運営に必要な事務的経費に充てるもので、令和2年度は9億7,897万

円です。

一方、法定外繰入金は、保険料の負担緩和などのために充てるもので、令和2年度は、令和元年度に比較し5,000万円減の15億円となり、1世帯当たり1万5,000円の負担となっています。

#### 歳出

保険給付費(114億6,602万円…62.6%)、国民健康保険事業費納付金(60億6,732万円…33.1%)で、全体の95.7%を占めています。

#### 加入者の医療費状況

一般被保険者の加入者数は年平均4万1,855人、医療費総額は135億6,728万円、1人当たりの医療費は年間32万4,100円となっています。

本市の国民健康保険事業は、医療給付費などの歳出に対応する財源の確保が難しくなっており、引き続き厳しい財政状況となっています。

加入者の皆さんご自身が健康管理に努めていただくとともに、厳しい財政状況の折、保険料の納付にご協力をお願いします。